

### 第3回いしかわの森づくり財源検討部会要旨

- 1 日時 平成17年11月1日(火) 14:00~15:40
- 2 場所 県庁行政庁舎1101会議室
- 3 出席状況 出席委員7名(全委員7名)
- 4 議事概要

事務局から「森づくりのための新たな財源制度等」及び「森林整備の雇用創出効果」について資料説明の後、意見交換

#### 5 主な発言内容

- ・国で消費税等の問題が出ている中で(新税を)実施するタイミングが難しいのではないかと。
- ・ボランティアの増加など県民の山への関心は高まっている。  
(新税の)タイミングは悪いかもかもしれないが、放置された森林で大雨による山崩れが起こっている現実を踏まえて方策を考えるべき。
- ・国で議論されている環境税と県の新税(森林環境税)はどう違うのかという議論もあり、PRをきちんとやることが重要。
- ・国の増税策は、負担能力の小さい人の負担が相対的に高くなっており、県の新税も同様(定額方式)であれば圧力があるかもしれない。
- ・企業の社会的責任意識が高まっており、企業の超過税率が比較的高くても、ある程度理解が得られるのではないかと。
- ・大企業はともかく、なかなか中小企業に理解を求めることは難しいところがあるのではないかと。
- ・寄附金等の活用も部分的には有効であり、課税とあわせて検討すべき。